

VOC 排出抑制技術・脱臭技術分野の進捗状況及び来年度の方針について

1. 平成21年度の事業報告

(1) ワーキンググループ（WG）開催経緯等

21年 4月28日 第1回WG開催
(実証試験要領の検討及び実証機関の公募・募集に関する検討)

5月27日 第2回WG開催
(実証機関の選定)

22年 3月 1日 第3回WG開催
(20・21年度の成果や実証機関等へのヒアリング結果も踏まえ、来年度以降の対応について検討)

(WG検討員名簿は別紙参照)

(2) 実証試験状況等

実証運営機関：財団法人 日本環境衛生センター

実証機関：社団法人 九州環境管理協会

実証機関：社団法人 埼玉県環境検査研究協会

(実証対象技術) 両機関ともなし

2. 来年度の方針

[課題]

- ・今後の行政的な課題であるオキシダント・PM対策として、VOC対策は引き続き重要であるが、今後の対策の方向性が確定し、実証のニーズが出てくるまで、次年度以降の実証対象技術の募集については「一時休止」とすることが妥当であることが、WG会合において確認された。

[改善策]

- ・一時休止する期間においても、実証済み技術については地方自治体や関連業界とも連携して情報発信を行い、普及を進める。
- ・引き続き、本分野における実証ニーズに関する調査・検討を実施する。

<今後の予定>

- VOC対策と実証ニーズの動向に関する調査等の実施

平成21年度環境技術実証事業検討会
VOC排出抑制技術・脱臭技術分野
ワーキンググループ
検討員名簿

岩崎 好陽	(社)におい・かおり環境協会 会長
尾形 敦	(独)産業技術総合研究所環境管理技術研究部門 励起化学研究グループ長
坂本 和彦	埼玉大学大学院理工学研究科 教授
土井 潤一	日本産業洗淨協議会 理事
中杉 修身	上智大学大学院 地球環境学研究科 教授
保坂 幸尚	東京都環境局環境改善部有害化学物質対策課 課長
本田 城二	共同印刷株式会社 環境管理部 部長